

〔12月〕人口の動き

人口	4,184 人
世帯数	958 世帯
出生	6 人
死亡	2 人
転入	3 人
転出	5 人

(12月末住民登録人口より)

# ひがし しらかわ 広報

第127号

発行  
東白川村 公民館  
岐阜県加茂郡東白川村  
〒511 (東白川) 1-1  
印刷  
中部印刷KK

昭和45年1月25日発行

昭和45年1月25日発行  
 東白川村公民館  
 〒511 (東白川) 1-1  
 印刷  
 中部印刷KK

おめでとう

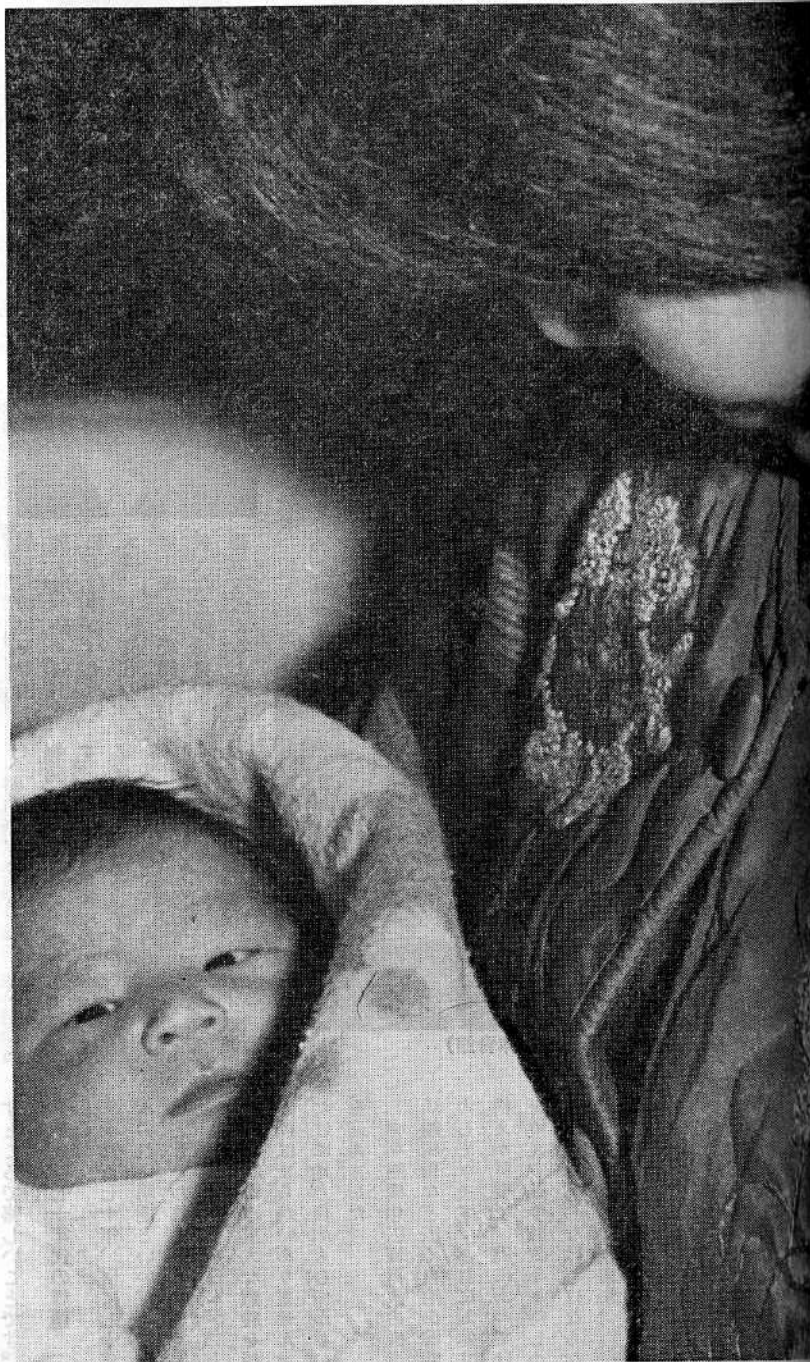
赤ちゃん

新しい年とともに、  
 元気に誕生した  
 赤ちゃん……。

ふたつのおめで  
 とうに祝福されな  
 がら、幼ない第一  
 歩が始まりました

このむくな気持  
 で、だれもがスタ  
 ートしたいもので  
 す。

(東白川母子センターにて)



# 健全財政で郷土建設

東白川村長 河田勘市

謹賀新年……。新年のごあいさつとして、昔なつかしいことはです。心も新たに昭和四十五年の新春を迎え、健康で越年せられましたこと、心からお喜びします。

## ―災害復旧の一年

過ぎ去りし一年は、全く復旧の年だともいえます。未曾有の八一七災害は、復旧工事費二億円でこれが復旧に全力を注ぎ、年度末に九割が完成する見込みです。一口に二億円といいますが、復旧はなかなか容易ではありません。

幸い渡辺代議士の努力により、局地激甚災害の制度が設けられ、農地など九割三分という高率補助と大幅な国の配分で、復旧が進んだ

な災害は、苦しい村の財政から補助金三百三十余万円を計上し、いちおう八一七災害の結末をつけることにしました。復旧と併行して災害を未然に防ぐため、全額国で一億円余りの予防治山や、砂防えん堤工事を進めています。

## ―進展する地方自治

災害に明け暮れたとはいいいながら、地方自治の進展は一日もゆるがせにできません

昭和四十四年度当初予算の一般会計は、実に二億一千二百三十万円でその後の追加補正を併せて二億四千八百七十五万九千円、最終的には二億五千万円を突破する大型予算となりました。

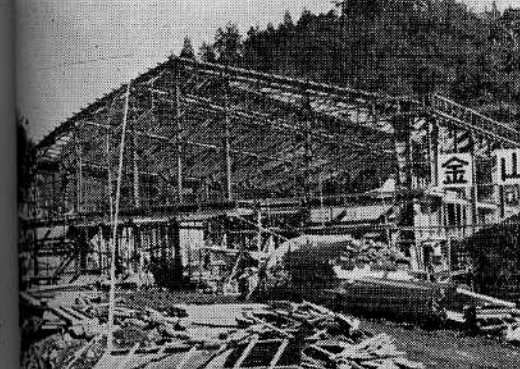
## 二・三仕事の事についてあげます

と越原付知線の県道昇格、主要地方道神土地内平川並ぶうかい線の確定、千七百余万円の工費で南北橋が永久橋に生まれかわりました。また、長年の念願だった体育館は目下建設中ですが、この建設に要する経費は五千七十一万円の巨費となり、三月には立派に完成します。



するものと信じます。――まずまず伸びる農業 農業構造改善事業も最終段階を迎え、現在、次期対策も計画されようとしています。 基盤の拡大整備と、施設の充実を図って、いよいよ生産性の向上に期待したいものです。 今、最後の仕上げとして振興山村事業に取り組んでいます。西洞から神付を経由加子母へ結ぶ白川加子母線のバイパス線、大沢農道の着工新設、桑園の拡大など受益者の要請に応えるよう努力しています。

村内に数多くの道路が併設されていますが、年次計画で舗装実施の計画です。受益者は道路愛護の精神を忘れることなく、維持管理の万全を期せられることを望みます。 農業が曲り角にきたとは久しい問題ですが、この課題は総合農政だといえます。しかしながら貿易の自由化に伴い、果たしてその期待に応え得るかどう、まだまだ疑問とするところ



(↑完成間近かな体育館)

村農業四本の柱は動かぬところで他に有利な転作が考えられるかどうか、あくまでも食糧法を堅持してその方針を貫くべきでしょう。 急激に変動する現在、国の政策の指導のみによって決して農業は楽になるとは考えられません。 農家はそれぞれ経営条件を異にするもので、国の政策、県の指導と相まって英知をしばりその実をあげ、過大な依存心をなくし、自主経営の最善を尽すべきだと考えます。 今科学は急速に進歩発達しアポロの月面着陸、コンピュータ時代といったところで、これ皆人間の頭の働きによってなせる業であります。 村内には、それぞれ頭

を使った立派な経営者が多くいることに敬意を表するものです。 十二月末現在の山村実在人口は四千八百八十四名、農山村の人口過疎化は争われない事実となつていきます。 努力不足は農業とはいわず商工業にも大きな影響を及ぼしています。 農業の振興は、商工業の振興につながるもので、経済成長下の年末における農協皆貯金の示すところで喜しいことです。 ー千九百七十年代の課題 千九百七十年、俗に七十年は日本のれい明期といい、七十年危機だともいわれています。 しかしながら、日本が二十一世紀に立向かう重大な意義を持つことにはまちがいがありません。 それだけに地方自治もむづかしい時代を迎えました。

中部圏構想広域行政の推進、生活圏構想など広く自治の範囲を拡大してきます。これに対処する心構えが肝要で、内にあるのは内政を徹え、健全財政を堅持しつつ困難を乗り切らなければならない重大期に直面してきます。 村内には幾多の仕事が山積みし公設保育園の建設や村民グラウンドの開設、振興山村事業の推進、災害の処理、過疎バス対策、道路橋の改良事業など、皆さんの協力に

最も重要な課題だと思えます。 真

# 後継者の確保と育成 東白川村議会議長 安江多策

千九百七十年代へのわが国の新

しい進路の第一歩である新春を、明るく迎えたことを心からお喜びします。

平素は、本村の自治発展と、産業経済の振興に、支援と協力をいただき感謝するとともに、さらに協力をいただくようおねがいします。

新年とは私たちの祖先が、私たちに残してくれた意義あることばだと思えます。数

千年、数万年の昔には、おそらく新年とか、元旦大晦日とかいうものはなかったことでしょう。

その時代は、ただ果てしない一日一日のくり返しがあるだけで、一年、二年の区切りもなく、ただ暑さ、寒さのくり返しだったと思います。しかも、暦が作られない以前の人類の生活は、このような単調な日々であったと思われま

したのです。

新年、すなわち正月はそのアクセントのひとつであり、生活の目盛りの頂点だと思います。私たちは、この頂点に立つて新しい年を感じ、生活感情を一新してさらに今後の生活へまい進する覚悟を新たにしたいものです。

昔から「一年の計は元旦にあり」といいます。生活のアクセントとしての新年の意義を、簡明卒直にいい表わした意義



あることばであると思えます。この新春に際して過ぎ去った一年をいかに過ごしたか、正しい目的に向かってどれほど努力したか、これを反省しさらにことしは何を計画し、何を実行すべきかを考え、これが実現の第一歩をふみだす。これが新年として、元旦としての意義でありましょう。

私たちの祖先は、このようにして年ごとにその志を新たに、一歩一歩今日まで人類の生活を築いてきたのです。私たちは、これを正しく継承してさらに発展、進歩

す義務があるに信じます。今日村の当面している課題は山積みしています。この課題すなわち、私たち自身の課題といえます。この課題を果たすためのいろいろな努力の裏に未来への強烈な希望

## 総合農政の確立を

### 東白川農協組合長 田口義吉

昨年は食糧管理法の改正に始まり、米価の据え置き、余剰米、自主流通米から作目転換、さらに総合農政問題と農家はもろろん、農協にとっても深刻な年でした。

さいわい農協は、村の農業振興施策に各課、各普及員が一体となり順調な発展を続けてきました。特に、農業は構造改善とともに規模も拡大、機械力導入により省力化、所得は増大、村の産業面はめざましく発展しました。そういったことから農協も金融、経済部門が活用され、大きく伸びたことはうれしい限りで、ことしへのいっそうの努力を惜しまないつもりです。

これからの農業経営は、完全な施肥設計からと一月中旬ころより営農計画の樹立座談会を開き、有

現在の発展したすぐれた文化も未来へのたゆまざる希望がなければ、その文化も停滞して、単なる形と化してしまうことでしょう。この意味からいって、当面の課題は良き後継者の確保と育成こそ

理な営農を計画し、最も健全な農家経営自立のためお手伝いをします。昨年の農作は、天候に恵まれず豊作とは言えなかったのですが、稲作、茶、養蚕、畜産共に、肥料飼育の万全と病虫害防除の徹底と品種改良などによって好成绩をあげることができました。特に産米売渡し五千五百俵中の一・二等級が七七・七パーセントで県下第一位の優良米が生産されました。農協はそういったことから、食糧管理制度の堅持により、価格販売の安定に努力するとともに、優秀な本村米の価値を保持するため、昨冬低温農業倉庫を完成保管管理の万全を期し有利な販売体制の確立が急務だと考えています。

茶園、桑園の規模拡大は今後、肥培管理に重点を置きます。茶は製茶工場の増設、技術の向上により白川茶の名声をいっそう高め、養蚕は、近代的な稚蚕共同飼育所ができたことから、杜蚕飼育にも省力養蚕の推進と、所得の増大に努力しなければならぬ重要な年といえます。

農協が一体となる村の特産物の名声を高めるとともに、共通部門については十分研究検討し、農家経営の安定確立を切望します。各部門の進展により総合農協の発展は当然ですが、今後自己資本の充実も必要で、出資の増強拡大によって、急速に発展する日本経済に遅れない体制を固め、伸びまく東白川村の発展に全力をあげます。

畜産事業は、自由化による食肉価格の安定政策により、最高価格が望めませんが、農協は系統を利用畜産物の有利性を高めるよう努力したいと思えます。村の農業振興施策を柱に、村と農協が一体となる村の特産物の名声を高めるとともに、共通部門については十分研究検討し、農家経営の安定確立を切望します。

各部門の進展により総合農協の発展は当然ですが、今後自己資本の充実も必要で、出資の増強拡大によって、急速に発展する日本経済に遅れない体制を固め、伸びまく東白川村の発展に全力をあげます。

# 人間にかえろう

教育委員長 田口耕作

アポロは人類を月に送迎して、宇宙を身近かなものにし、新幹線は東京大阪を高速で突走り、その距離を縮めたといわれます。

それなのに(そのためにというべきか)人間疎外といわれ断絶の時代と叫ばれて、人と人、心と心を相遠くへだてていくようです。

高度経済成長そのものといった六十年代が終わり、七十年代幕あけの元日の新聞誌上は、七十年代を予測して次のように報じていました。

個人の価値がなくなる時代、個人生活の尊重があらためて大きく叫ばれる時代だ。「六十年代はデッカイことはいいことだの時代だった。結果は、車、米、公害、すべて大きくなりすぎた」。これを受けつぐ七十年代に要求される新しい価値体系は何なのか、何より何よりも人間復興を願いたいものです。

で素朴な裸の人間、人のいのちそのままで立ち還ってみよということではないでしょうか。

芸術の歴史でも、歌の歴史でも立ち還るといふ運動がみられます原始に立ち還れ、もういちど自然から出直せという主張。モネーはもういっぺん自然をじかに見てみる、こどもにかえつてもういっぺん睡蓮を見つろごうといったわけでしょう。

私たちはどうやら時代の推移に応じかね、げん惑されて人間を、こどものしつけまでも、放棄しつつあるのではないかと、自戒の思いを新たにします。

いったい人間とは何なのか。ロボットでも「お早う」ということばはいうでしょう。しかし、人間が「お早う」というとき、それは親愛を意味するのか、習慣を意味するのか、それとも………というぐあい切がありません。切りはないが、しかしひとつの絶対的な動作の姿です。ですから「お早う」ということばに完全に答え

こういう事実を人間の尊厳というのではないのでしょうか。人の悲しみも苦しみもわかるということ、そういう個人がわからなければ、平和といったってむなしことはにすぎないでしょう。

本当にわかるとは、知るといふことではないし「味える」ということ……。「味う」とは、ある情から、あることが生まれるその働きに心の中で従ってみよう

## 勤労を喜べる中学生に

東白川中学校生徒会長 田口修二

います。簡単に世代の断絶とあきらめてしまわないで、ともすれば反抗的になるこどもの自己主張にも、とっくり「味い」ながら聞いてやりたいと思います。

コンピュータの時代がやってくるといわれます。今にも科学万能の時代がくるかのように。いづれ教育の分野にも広がっていくことでしょう。

だがコンピュータは「なぜ」には答えてくれないようです。問

民の方々のよき指導、よき教えのおかげだと思っています。私たちは、村の一員であるという自覚を持ち、村民としてのつとめを果たさねばならないと思います。

村で展開される運動に積極的に参加すること、また、私たちのつとめである学習に取りくむことなど、決意を新たにしています。

学習の中には勤労もあります。勤労を喜び、進んで取り組める中学生でありたいと思えます。そんな意味からも、学習に真剣に取り組む、進んで明かるい村づくりに参加することが、村の一員としてなすとげる課題ではないかと考えます。

現在、中学校の生徒会の組織のひとつとして、地区生徒会活動を

題のとき方、もの考え方、それらの「なぜ」に答えてやれるのは十四億の脳細胞を持つ、尊厳なる人間だけに始めて可能で

人間であることを忘れがちな私たちです。人生にうるおいをもたらすものは人間の心なのだ、この年頭に新めてかみしめています(こどものような原初な心にもどつて、人間万歳と)

それぞれの地区ごとに奉仕作業日を決め活動しています。バス停か、お宮の清掃などが主ですが、これからも地区ごとに話しあひや、活動をかさねて、中学生として望ましいあり方を求めていきたいと思えます。地区の住民として、団結することも大切だと思えます。地区の活動を通して村づくりに参加したいと思えます。

学校内における生徒会活動と、自分たちの手でできることは自分たちで解決して、自主的に進めていくことが中学生としての自覚だと思っています。有意義な生徒会活動、皆の福祉を願っての生徒会活動、村の一員としての地区での活動など、ますます前進させていきたいと思えます。

私たちはこの村に育つて十年余り、今東白川中学生として、学習に、運動に励んでいます。

現在、中学校の生徒会の組織のひとつとして、地区生徒会活動を

現在、中学校の生徒会の組織のひとつとして、地区生徒会活動を

# 大事な父親のしつけ

東白川中学校校長 青木和男

子どもはそういう父親でも教育すべく求められる。おやじがそんな仕事をし、どんな顔をしていのかは見たこともないが、少なくとも家では気の抜けたような顔をしているか、さもなければむつかしい顔ばかり。いったいおやじのどこが偉いのだろうか。おやじなんかくだらんと、子どもが心の奥で思う。子どもにとって、家庭での父親がすべてなのだから、中学時代の誇り高きむすこは、父親批判をつのらせていく。この父親が、なぜあれほど間に合う母親よりいばっていられるのかと。

父親はその仕事があつて何かと忙しい。だから「こどもの教育ぐらいはお前がやれ、学校でやってくれる。」と母親にいい「大事なところだけおれがやる。」というのが今の世間一般家庭の実情だといわれます。実のところ、わたしはそうではありません。

かくして父親は、忙しい忙しいといひながら、家族の知らぬ世界で、家族のあずかり知らぬ男の大事な仕事に奔走し、深夜酒に酔って帰還し、時に早く帰つてもこどもの教育の大事なところをみるわけでもなく、好みのテレビチャンネルをひねり、煙草をふかすのであります。

それでも父親は偉いのであり、

こうして父親の権威はしだいに落ち、おやじはろうばいし「こどもの教育ぐらいお前に任せる。学校へやっとなげばよい。」といつて母親のうしろにあぐらをかいていた父親も、自分の権威にかかわる段になるや「ばか者、おやじの苦労がわからぬのか、このスネカジリめが。」とどなるのでした。

しかし、むすこは自分がおやじのスネをカジッていることぐらいは先刻承知であり、それが独立心をもちはじめた中学上級生のむすこには、常に父親劣等感の「いわれなき反抗」の理由なのでしたから「なんだ、おやじの苦労より母親の苦労の方がよっぽど多いや、食べさせてやっつるなんてひきょうだぞ。」と反発心を深めるばかり



希望に胸ふくらませて集立つ卒業生 (昨年の卒業式から)

なのです。

父親は「こどもの教育の大事なところだけはおれがみる。」といつてみても、日ごろの接触が少なければ、そもそも大事なところがどこかつかみにくいわけです。三年生になつて進路を決めるあたりでと、たかをくくつても手おくれでした。父親も、もつともにも語りかけることが肝要なのでした。

では、何を語りかけるのか。いろいろあるのですが、父親は「自分の仕事について、日ごろ語り聞かせていく。その時、自分のビジョン(理想)も含めて語つていく。仕事に打ち込む父親の態度をわからせていく」ことがかんじんだと思ふのです。

むすこは口にはださないが、しだいに おやじのえらさを感じてく

る。それはやがてその子の職業観(高校、大学に進学する子にとつても)を培うものになると思ひます。

また、父親は、自分のそとでの楽しみも語つてやる。できればむすこも連れていつてやる。年令相応な楽しみを、むすこにもひそかにわかつてやることは、その子の人間らしさが育つビタミン剤にもなるうかと思ひます。

世の中のさまざまなかごをみるにつけ、こどものしつけよう磨きようが、今日ほど大切なときはないと痛感します。この際おとうさんに、ぐつとひざ乗り出していただかなければと思ひ、一言述べさせていただきました。

## .....けいじばん.....

十二月の人の動きあれこれ  
——出生——

(中通) 安江俊郎(しのぶ)

(日向) 瀨戸垣明(桂)

(陰地) 今井兼義(明義)

(陰地) 安江明夫(貴美子)

(中通) 安江隆司(泰正)

(照子) 照子(長男)

——婚姻——

安江 秀郎(柏本)

今井谷時子(陰地)

安江 俊明(日向)

土井美佐子(宮代)

古田 徳(柏本)

安江ミツル(西洞)

——死亡——

安江 熊市(下親田)

小池 秀野(曲坂)

■ 入場券の半片は、あなたが入場税を納めたしるしですから必ず受取りましょう。

■ たばこは、村内の小売店で買ひましょう。

# 深まる郷土とのつながり

## 東京村人会長 安江時三

ふるさととは速くにありて思うものという有名な詩句がありますが、こどものころ川で魚を釣ったり、山で地蜂の行方を追っかけたりした楽しい思い出が、後から後からとしのばれて、なつかしさでいっぱいです。

私もふるさとを離れて五十年目の正月を遠く異郷で迎えました。この間、名古屋に二年、支那に一年、ビルマに一年、ベトナムに一年、後の四十五年が東京で、何度かの命拾いをしながら、苦勞を重ねたうえ、ここまで生きのびてきました。

こどもも、皆成人して一家を形成し、勤めも無事に終わって東京で余生を送る身となりましたが、何かしなないではおれない性分のため、今三つばかりの親睦団体のお世話をしながら案外忙しい毎日を送っています。

その中に皆さんともつながりを持つ東白川村人会があります。この村人会は、昭和四十一年七月の創立で、会員間の親睦が主な目的ですが、郷土の方々ともつながり

それは、全国大会へ県代表チームとして参加した東白川村男子バレーチームの応援をしたり、中学校の修学旅行があるたびにお世話をしたり、郷土の未曾有の水害に見舞金を送ったり、郷土の発展ぶりを見学しようと訪問したりして郷土とのつながりを持ったのです。

私が、日増しに深まりつつあることは、喜ばしいことです。特に会員に喜ばれていることは村から毎月の広報を送っていたことで、今後ますます続けてほしいことです。

私が、この村人会をお世話している深く感ずることは、会員の皆さんが郷土のために示される、あの郷土を愛する心の実に強いことです。

現代社会 特に大都会において多くは多くのひとが利己主義で、自己の娯楽やレジャーには、驚くほど多額の費用を平気で消費しながら他をかえりみない、自分さえよければ他はどうなってもかまわないという狭くわしい時代において、村人会の皆さんが、郷土のために

全く心を打たれます。

この強い郷土愛の発露、それはあの清い流れの白川のほとり、美しい緑や、紅葉の山々に囲まれた申し分のないよい環境のふるさとで、幼い時に培われたわが郷土特有の美しい心が泥沼のような東京で生活されても、少しも濁っていないことを立証するもので、ほんとうに心強く感じています。

ことし、村人会として実施したいと思っていることで、皆さんと関係のあることは次のことです。

(一) 東白川育英奨学基金の募集の継続

(二) 東京やその近県へ、就職、就学している郷土出身者の面倒を見ること。

村内の皆さんの中で、手紙の交換だけでは、十分実情を知ることができずお困りの方や、心配な方は連絡ください。村人会のものでできるだけ満足のいく調査や、お世話をしたいと思えます。

またことし、東京方面へ就職就学先のお所と会社学校名をお知らせください。

(三) 郷土訪問の実施

次に私から、郷土の皆さんに希望したいことは、最近の日本の発展ぶりの反面、国民は精神面において利己主義となり、愛国心は低

罪の意識すら感じない若者が増えていることは残念でなりません。戦後の学校教育が、〇×式の学問にばかり重点を置いて、一番大切な修身教育をおろそかにしたことで、家庭内においても同様、そのもつとも欠けていたものは人間疎外だったと思います。

今の教育に一番必要なものは、修身教育だと思います。修身教育は、幼稚園や、学校まかせでなく家庭においてが大切で、物心ついて小学校を終わるまで形成されるものと思います。

科学化、合理化につとめられつつ、青少年の補導教育に実をあげられていくこと、真に明るい郷土建設につながり、村人会員の熱烈な郷土愛も、ここに基因していると思います。

## 22年間の思い出話

### 東白川連合婦人会長 古田三代子

邦好の奥さんが会長をされたころは会にお金がなく、毎月当時の地方事務所へ出す行事報告の郵送料八円を節約するために、だれかが一番のバスで太田へ行くひとはないか、朝早く停留所に立っていたものでした。

また、読書グループで、夜公民館に集まり、だれかひとりが本を読み、あとのひとは古雑誌をほぐして封筒をはりながら、朗読を聞いたこともありました。その封筒は、通知文書、回覧文書に使用するもので、漬物でお茶のみ、それでも楽しい楽しい婦人会でした。

千九百七十年の新しい年が明けました。私がこの村に住まわせていただいていた二十二年、婦人会に出させていた二十二年、婦人会のありかたにもずいぶん変わってま

ました。昭和二十五年から、皆さんのお骨折りによって電気料の集金が始められ、本会の会計は他村にくらべものにならないほど裕福になりました。そして、昭和三十八年からは前

# 教育環境の整備を

東白川村教育長 安江又右門

千九百七十年の新春を迎えましたが、ことは七十年代への輝かしい躍進を意味する期待の年と云われています。

本村でも、この新しい時代の幕明けにもっともふさわしい事業の一つとして、目下、体育館の建設工事が、着々進行していますが、これが完成のあかつきは、本村の教育のいっそうの向上が期せられひいては、郷土七十年代の発展につながるものとして、大きな期待をかけています。

さて、この七十年代への教育的課題は何か。：現代の急速な進歩を遂げる科学技術と、経済の高度成長は、この七十年代ではさらに加速度化され、私たちの想像をはるかに超えた飛躍的な繁栄をもたらすであろうと云われています。しかし、その反面、これらの物質的な繁栄のかげには、人間性が無視され、精神面の低下、道義の廃退が指摘されており、この七十年代こそ人間復興の時代として、これからの時代に対処できうる人づくりに取組まなければならないと考えます。

ことに、これが基本的な問題として上は大学教育をはじめ義務教育に至るまで戦後の教育制度の欠かんが指摘され、国では、現在大学制度の改革案が審議されていますが、義務教育制度でも、その必要は目前に迫っており、おそくは、この七十年代で、高校教育の義務化をはじめ、就学年齢の引下げ六・三制度の改正など、一連の教育制度の抜本的な改革が、必ずや実現すると思えます。

ところで、このような来たるべき時代の要請にそなえる意味において、本村の教育の現状を見渡すとき、先輩の方々の遺されたよき教育環境の中にあつて、学校教育はもとより、青年、婦人を対象とした社会教育は、極めて健全で活発な活動がなされていますが、これをとりまく本村の教育的諸条件は決して満足すべきものではなく急速に進展する時代に対応できる条件を整えるには、こんご幾多の問題が残されており、いまま

ながら弊の重大な感を感じ、身の引きしまる思いがたします。とくに、学校教育の面では、目下進行中の体育館の建設のあとには、学校給食の合理化と米飯への切換え問題を含めての給食センターの建設、更には建築以来六十余年を経過した神土小学校の改築をはじめ、児童の減少する中にある老朽化のめだつ越原小、五加小の鉄筋化とこれが統廃合をも含めた再整備の問題、また屋体整備の問題、あるいは、人口の過疎化による通学バス対策等々があります

また一方、社会教育面においても、新しい時代に即応して村民教育文化の拠点たる社会教育センター(中央公民館)の建設、農村後継者の養成の場としての青少年研修施設、健全な野外体育を伸ばすための総合グラウンドの建設等々、多くの問題をひかえています。そのいづれもは、こんご十年間を待たずして、必ず解決しなければならぬ重要な問題であります。

昔から「教育は人に在り」と云われてきましたが、物質が優先している現代では、「教育は環境に在り」また「施設に在り」と云わざるを得ません。教育は、郷土の将来を左右する重要な問題でありこれら教育的諸条件の整備こそ郷土七十年代のわれわれに課せられた重大な責務であると信じます。

昭和三十四年一月に、貸衣裳を始めた時は、花嫁衣裳二組、留袖一枚でしたが、今は花嫁衣裳四組、打掛二枚、留袖九枚、裏服一枚、モーニング五組となりました。

いちはん問題となっている役員の選出方法も、はじめは総会の当日いきなりの選挙で、顔を見られると入れられる恐れがあるので、目ぼしいひと欠席されたり、欠席されたひとが選ばれたり、形ばかりの選挙となつて、引き受けていただくまではなかなか大変なものでした。



(↑楽しかった婦人大会体育のつとひのひとこま)

そして、その次には、各支部二名づつ会長候補者を出して選挙をし、候補者にあげられたひととは、自分に入つては大変と、皆さんに家庭の事情など説明する落選演説なども行なわれたものです。書記も、会計も同じように、みんな困

つたり、同情したり、泣いたりしたこともありました。そんな中で、昭和三十九年から、会員の人数に応じてということで、七五三の割で神土、越原、五加と会長を出すことに決められ昭和五十三年までは、支部で責任を持つことになりました。歴代の役員の方々の積み重ねがあり、また財源もでき、役員研修会、婦人学級での学習などのおかげで、今は涙なしに役員改選ができる明るい婦人会となつてきました。郡、ブロックの研修会、県の研修会に出席しても、本村ほどいいところはありませぬ。

# 投票率は88.7%

…好調だった年末総選挙…

昨年十二月二十七日に行なわれました衆議院議員総選挙と最高裁判所裁判官国民審査の投票は、今までに例のない年末選挙ということで、投票成績が心配されましたが、その懸念をくつがえし八八%という好成绩をおさめることができました。

本村では、従来どおりの村内五カ所の投票所において朝七時から投票が開始されましたが、出足はいつもの選挙ほど好調でなく心配されましたが、徐々に投票率も上り正午現在で五九%、午後四時には八〇%を超えました。

◎最高裁判所裁判官国民審査の結果

裁判官	村上朝一	松本正雄	飯村義美	関根小柳	合計
可とする数	210	199	178	152	739
可とする数	2,127	2,138	2,159	2,185	8,609
無効の数	0	0	0	0	0
合計	2,337	2,337	2,337	2,337	2,337

投票区別投票状況

投票区	有権者数	投票者数	投票率
神 土	959	867	90.41
神 付	337	297	88.13
越原下	570	481	84.39
越原上	465	403	86.67
五 加	517	478	92.46
計	2,848	2,526	88.69

なお国民審査の投票者数は二、五〇八

投票総数 二、五〇五

(外に持帰り三)

有効投票 二、五〇五

◎衆議院議員総選挙開票結果

投票総数 二、五二六  
 有効投票 二、五〇五  
 無効投票 二一

渡辺栄一 一、五九一  
 可知一太 二一四  
 榎兼次郎 一七六  
 金子一平 一六〇  
 塚田昌平 一五五

西村慶二 一一五  
 古屋 享 五二  
 阿部 速 四三  
 梅村和正 二

## 税務署からのお知らせ

# 法定資料の提出は早く

法定資料とは納税者の皆さんが正しい申告をしていただくために

一定の資料の提出を税法で義務付けているもので、その提出期限は大半が支払の確定した年の翌年一月三十一日までとなっています。その主なものは次のとおりです。

① 給与を支払った人は「給与所得の源泉徴収票」を二部作成し、一部を本人に、他の一部を税務署に提出するとともに同じ内容の「給与支払報告書」を二部作成し受給者の現住所の市町村役場へ提出することになっています。

ただし昭和四十四年中に支払われた年末調整後の給与の額が二百万円以下の人たちの源泉徴収票は税務署へ提出しなくてもよいことになっています。

④ 会社やその他の法人の役員で五十万円をこえるもの

⑤ 弁護士、公認会計士、土地家屋調査士などは百万をこえるもの

⑥ 源泉徴収税額表の「乙」欄の適用者は百万円をこえるもの

⑦ 昭和四十四年中の退職者で退職時までの給与額が百万円をこえるもの

⑧ 法人や不動産業を営む個人で不動産や不動産上の権利などの賃借料を支払った人は、昭和四十四年中に支払いが確定した金額などを各人別に記載した「不動産の使用料等の支払調書」を税務署に提出しなければなりません。

⑨ 災害による被害者で源泉徴収税額の徴収猶予を受けた人で給与額が百万円をこえるもの

⑩ 法人や不動産業を営む個人で不動産や不動産上の権利などの賃借料を支払った人は、昭和四十四年中に支払いが確定した金額などを各人別に記載した「不動産の使用料等の支払調書」を税務署に提出しなければなりません。

③ 報酬、料金、契約金および賞金を支払った人は、昭和四十四年中に支払が確定した金額、源泉徴収した所得税額などを記載した「報酬、料金、契約金および賞金の支払調書」を税務署へ提出しなければなりません。

④ 法人や不動産業を営む個人で不動産や不動産上の権利を買入れその対価を支払った人は、昭和四十四年中に支払が確定した金額などを各人別に記載した「不動産の譲受けの対価の支払調書」を税務署に提出しなければなりません。

ただし、同じ人に支払った額が三十万円以下のもは、提出しなくてもよろしい。

(関税務署)





# こどものかぜと消化不良

おとなの場合と

ちがいが、小児特に生後半年位から、学校に行くようになるまでの乳幼児は、かぜをひきやすく、消化不良も起こしやすいものです。乳幼児の場合、年に数回はかぜにかゝるといわれますが、その時の症状は、そのこどもの日ごろの健康状態によって異なるものです。いつも健康なこどもはかぜをひいても鼻かぜ程度で終わっても、日ごろ

ひ弱なこどもは気管支炎や肺炎になりやすく、このことは感冒だけに限らず、胃腸の病気や、その他いろいろの病気の場合にもいえることです。

今回は乳幼児が最もかかりやすい感冒と消化不良について、日常生活すべきことがらについて考えてみましょう。

## ○ かぜの手当

かぜの特効薬はなく、安静と保温が最も大切な手当です。室内の空気の乾燥をさけ、やかん、洗面器などで蒸気をたてることも大切です。乳幼児の場合、かぜのさいは、胃腸の働きも悪くなりやすいので、常に便の状態に注意し、はきけや嘔吐などにも気をつけねばなりません。特に乳児の場合は、母乳やミルクの飲み加減に注意しなければなりません。

みんなの健康

## ○ 消化不良の手当

消化不良には、急性の場合と慢性の場合がありますが、その原因はいろいろの場合がありますがその手当ての方法は、どの場合も食事療法が基本となります。

消化不良症の症状としては、急性のものでは、下痢が強かったり嘔吐があったり、時に熱を出したりもします。下痢や嘔吐が強いと体の水分が少なくなり(脱水症状)危険な状態となります。下痢嘔吐のある時は、早めに医師に相談すべきでしょう。飲食物は乳児の場合、母乳が最も良く人工ミルクならば、普段よりうすめて(薄乳とか粉乳)一回の量も少なくします。ミルクをうすめる時には、手もとにあれば滋養糖を五パーセントくらい加えます。離乳期の乳児であれば、数日間、離乳前の食事にします。離乳後の乳幼児の場合は、重湯、稀釈乳などから始め、徐々に、カユを三分、五分、七分というようにかたくしていきます。幼児では、やわらかく煮てんだうどんやきしめんなども、使

## ○ ニンジンスープ

ニンジン五百グラムを外皮をとりおろし金でおろし、水で一リットルにします。これに食塩を三グラム加え、とろ火で二時間煮ますこれをうらごしにし、湯を加えて

のよいものが当然必要ですが、野菜スープは熱那程度にしておくのが無難です。慢性消化不良症は急性の場合と異り、下痢や嘔吐はそれ程ひどくなく、食欲が少ないとか、食欲は普通でも、時々下痢や嘔吐をくり返すなどの症状がありますが、要はこのようなこどもは、体重がいつまでも増加せず、一般にやせていることです。慢性消化不良症の原因は急性の場合よりも複雑で、そのため治療法も一定したものではありません。たとえば、母乳が不十分なのに、母乳だけで乳児を育てる場合も、栄養不良が原因で消化不良症となることもあり、神経質なことでも偏食しやすく、栄養の不均衡のため消化不良症を起こすこともあり、その他に病気のある時など、慢性の消化不良症では原因に対する処置が大切です。便の状態がなかなか良くならない時、体重がふえない時などは、医師によく相談しましょう。

## ハシカ

間もなく訪れる春風とともハシカの流行期がやってきました。ハシカは厄病だから一度は誰でもかかるものだと決めてかかっている人もあるようですが、肺炎、中耳炎、脳炎などの合併症の恐ろしさを思うと。いままぐでも予防接種はすませておきましょう。

## りんごがゆ

りんごの皮と芯をとり、おろして、砂糖を少し加え甘味を添えます。一回百から二百グラムずつ、一日二〜六回あたえます。乳児よりも年長児によいといわれております。

さて、乳幼児の消化不良症のさい、治療食となる料理を二種類紹介しましょう。

## (イ) ニンジンスープ

ニンジン五百グラムを外皮をとりおろし金でおろし、水で一リットルにします。これに食塩を三グラム加え、とろ火で二時間煮ますこれをうらごしにし、湯を加えて

初期のクシャミやハナミズをかぜと見あやまる場合がありますから、よく注意してみてもやります。一番うつりやすい潜伏期は十日間ぐらいですから、発熱したらその前日あたりいっしょに遊んだ子の家へはすぐ知らせあげましょう。

東白川育英奨学会

夢を託して届く基金

基金協力者の紹介(その三)

先月号からお知らせしている、東白川育英学会への奨学基金の二月七日以降一月十日までに協力いただいた方をお知らせします。

基金は、現在百万円を突破、事務局でも整理に追われていますが、期日が前後してはいるものもありますがよろしくおねがいます。

村内協力者から

(除地)

- 千円―瀧川清吾、千円―安江民雄、千円―安江己之介、千円―中島芳造、千円―桂川益夫、千円―安江克己、千円―牧野富郎、三千円―安江春兼、千円―大坪兼敏、千円―村雲佐七、千円―田口和昭、千円―安江厚、千円―河村繁治、千円―粥川豊、千円―安江土岐枝、千円―松岡淳、千円―松岡幸子、千円―牧野義人、千円―河村まなみ、千円―村雲忍

(曲坂)

- 千円―蒔田保子、千円―今井良一、千円―蒔田紋寿、千円―蒔田鎮、千円―村雲勉、千円―蒔田菊

大坪理雄、千円―小池晴夫、千円―蒔田甲子郎、千円―安江正之、千円―蒔田淳一、千円―安江守夫

(中通)

千円―安江隆次、千円―村雲あ

(大沢)

千円―藤井富夫、二千円―今井正己、三千円―藤井勝治

(宮代)

千円―安江捨吉、五百円―土井宅市、千円―熊崎貞治、五百円―安江衛、三百円―安江繁美、千円―今井保三、千円―今井礼三、千円―今井喜市、千円―三戸二一、二千円―安江辰也、千円―横井充久、百円―中丸久作、千円―今井哲、千円―古田元吉、千円―安江貢、千円―今井保、千円―伊藤勝

(平)

千円―矢崎千歳

(東白川中学校)

三万円―青木和男、五千元―笠井昌太郎、二千元―石井定、二千元―武井常次、二千元―今井房雄、二千元―青木孝幸、二千元―左高

村外卒業生から

伊東一郎、二千円―田中和正、二千円―林直雄、二千円―安達ツタ代、二千円―村雲美知子

千円―井道一枝、二千円―今井修武、千円―今井清子、一万円―岩田花江、二千円―今井時信、一万円―桂川敏、千円―桂川安行、千円―川合みや子、千円―河田達夫、千円―桑山春子、千円―栗本司郎、千円―栗本紀子、三千円―近藤ユミ、千円―小池邦広、千円―沢野久仁子、千円―佐藤加代、三千円―杉山重俊、一万円―田口好樹、千円―田口光洋、千円―田口正久、千円―中島台子、千円―中島美枝子、千円―服部磯子、一万円―早瀬熊吉、千円―古田正英、

国民年金保険料は

期限内に

国民年金保険料を納め忘れている人はいないでしょうか。保険料を納期限までに納めていませんとケガをした場合に支給される障害年金、夫が死亡した場合に支給される母子年金などが受取られない場合があります。

保険料の納期限は、四、五、六月分は七月末日までというように

村外の協力者から

千円―古田易治、千円―松村美和子、千円―松岡久美、千円―松岡昭三、千円―三戸良弘、千円―三戸計二、二千円―山田三枝、千円―安江邦雄、千円―安江守、千円―安江富雁、千円―安江義之、千円―安江久、千円―吉村美江

千円―伊藤礼子、一万円―越原一郎、一万円―越原鐘子、千円―田口啓之、二千円―新田和子、千円―村雲理三、五千円―安江浜治

△村人会▽

一万五千円 中畔美枝子、五千円―早瀬勇次郎、五千円―村雲定市、三万円―安江孝三、三千元―安江新平、千円―渡辺トヨ

一月、四月)に定められています。最後の納期限である四月末日を過ぎますと、市町村では納められなくなり、直接社会保険事務所へ納めるか、納付書を使って銀行や郵便局で納めることになり手数料もかかります。

保険料は一年分まとめて前納することもできます。また所得がないなど経済的に保険料を納められない人には、保険料の納付を免除する制度があります。保険料の前納や免除については市役所、町村

納税証明の請求は繁忙期をさけて!!

例年二月、三月になると納税証明書の請求が多くなりますがこの期間は税務署も役場も繁忙期にあたりますので、この時期に請求されても即日交付ができない場合もあり、ご迷惑をおかけすることになります。納税証明書の必要な方は、なるべくこの時期をさけていただくよう、ご協力をお願いいたします。

所得税の還付申告を早く

昭和四十四年中に給与、配当等の税金を源泉徴収された人で所得を計算した結果、所得税が納め過ぎとなった方は、源泉還付の確定申告書なるべく二月二十日ごろまでに税務署へ提出して、納め過ぎの税金の還付を受けてください。この期間を過ぎると皆さんのお手もとへの還付が遅れ、四月以降になることもありましたのでご了承願います





# こわいスリップ事故

—スピード、ブレーキに注意を—

いよいよ運転者泣かせの季節がやってきました。雪は降り積もる路面は凍る、エンジンのかかりは悪い……など、悪条件がかさなるときです。

こうした時期に、いちばん多い事故はスリップによるものです。その一例をあげてみます。

普通自動車が時速六十キロで走っていて、急ブレーキをかけた場合、車が停止するまでの距離は、かわいたアスファルト道路では、

三メートルと約一・五倍、積雪、凍結の場合は三倍以上とまるで車にスキーをはかせたようにすべります。またタイヤの減りぐあい、ブレーキのきき方などによって、かなり変わり、横すべりなどを伴い、思わぬ大事故を起こすことがあります。こうした事故を防ぐためつぎのような安全運転に心がけていただきたいと思います。

### ◎ 出発前には

#### 農家の皆さん

千九百七十年世界農林業センサスをご存知でしょうか。

実は、昭和四十五年二月一日を中心に、全国いっせいに行なわれる農林業に関する調査のことです。つまり、農家の皆さんの協力を得て、農林業の事情を知るために行なわれる調査のことをいいます。

そこで、千九百七十年世界農林業センサスを行なうことが、どんなに意義があるか、ここでいっしょに考えてみたいと思います。

ご承知のように、今や、わが国の農業は、お米をはじめ、むづかしい問題をたくさんかかえています。

農林省や、都道府県、市町村や農業団体は、こうした問題解決の

エンジンがかかったら、アクセルを軽く踏みながら、エンジンの調子を合せます。チョークを引いたときは、徐々にどしどし、やや高めの回転で、少なくとも水温計の針が動き出すまでウォームアップします。

#### ○雪路では

必ずタイヤ・チェーンをかけるか。まもなくスノータイヤに替えておく。

ためにいっしょけんめい努力しています。また、林業についても同じことがいえます。

しかし、いろいろな政策をすすめる上で、第一に必要なものは正確な統計に基礎をおいて計画を立てることにあるのです。

そこで、二月一日に、こう

### 農林業センサス

## 二月いっせいに

した統計を作るために農林業センサス。つまり農林業の実情を知るための調査が、全国いっせいに行なわれるわけです。

その際、調査員が皆さんのお宅を訪ねて、いろいろご質問することになります。皆さんにおたずねしたことについては、絶対に秘密が守られます。ですから、この

○発進から停止まで、すべての動作は ゆったりもって急発進、急ブレーキ、急ハンドルはしないように心がける。

○路面が凍っていたり積雪がある場合スリップします。停止のときは、エンジン・ブレーキでじゅうぶん減速して、それから徐々にブレーキを踏む。

調査によって税金がふえるのではないかとご心配をなさる必要はありません。もし、統計をつくる以外に調査表を使ったりした場合に、法律によって処罰されることになっているからです。

農家の皆さんが、税金などのことを心配して正しい申告をしてくださいませぬ。

調査によつて税金がふえるのではないかとご心配をなさる必要はありません。もし、統計をつくる以外に調査表を使ったりした場合に、法律によつて処罰されることになっているからです。

農家の皆さんが、税金などのことを心配して正しい申告をしてくださいませぬ。

誤まった計画がたてられてしまいませんか。計がつくれ、と、間違つた統計が、税金などのことを心配して正しい申告をしてくださいませぬ。

誤まった計画がたてられてしまいませんか。計がつくれ、と、間違つた統計が、税金などのことを心配して正しい申告をしてくださいませぬ。

誤まった計画がたてられてしまいませんか。計がつくれ、と、間違つた統計が、税金などのことを心配して正しい申告をしてくださいませぬ。

○日あたりの悪い場所、雪の上、下り坂、曲り角など、スリップしやすい所では、早めにギヤを落し、エンジン・ブレーキにより静かに徐行にうつる。

○直線道路でも、車間距離をじゅうぶんにとって、他の車に、たえずよく注意している。

○横町歩道の近くや歩行者のそばを通り抜けるときは、とくに徐行すること。

ついでに、防疫体制に使う葉などの手配を誤るといったことにもなりかねません。

したがって、このセンサスによつて正確な統計を作るには、農家の皆さんに正しい申告をしていただくことが何よりも大切です。

私たちの村で実施している農業構造改善事業や、山村振興事業あるいは今後行なわれるすべての農業振興施策の国庫補助金の算定基準は、すべてこのセンサスの結果によつて決められます。

その意味でも、センサスは私たちの生活に直接関係のある重要な調査といえます。

千九百七十年世界農林業センサスの結果は、これからの新しい日本の農林業の進むべき方向を示す重要な決め手になるものです。

千九百七十年世界農林業センサスの結果は、これからの新しい日本の農林業の進むべき方向を示す重要な決め手になるものです。

# 盛りあがった善意の心

## 歳末たすけあい運動に十九万円

「みんなそろって明るいお正月をケのローガンで、村ぐるみの昭和四十四年歳末たすけあい運動の結果がまとまりました。

気のどくなひとに愛の手をさしおのべる歳末たすけあい運動は、年ごとに村民の中に浸透し、今回は飛躍的な成果をおさめました。

ことしの募金は昨年の実績十七万円を大きく更新して、十八万五千四百八十五円も集まりました。

皆さんの、心あたたまるたすけあいの精神により、きのどくなひとたちをどれだけ力づけたことでしょうか。

ほんとうにありがとうございます。

### 村内各部落からの募金

大口(十六名) 一千六百円、平一班(十二名) 一千六百十五円、平二班(十三名) 一千三百円、平三

班(十三名) 一千九百七十五円、平四班(十八名) 一千三百五十円、平五班(九名) 一千円、平六班(二十一) 一千二百円、平七班(十三名) 一千二百円、平八班(十一名) 一千三百円、平九班(十六名) 一千九百円、平十班(十五名) 一千七百円、平十一班(二十一) 一千二百円、平十二班(十五名) 一千五百五十円、下親田(二十三名) 一千四百三十元、上親田(四十七名) 一千六百七十五円、中通(三十五名) 一千三百八十元、神村(三十四名) 一千三百四十元、中谷(二十六名) 一千二百六十元、加舎尾(十七名) 一千七百円、西洞(二十八名) 一千三百三十元、曲坂(八名) 一千七百五十円、日向(五十八名) 一万円、陰地(八十九名) 八千五百円、栃山(十九名) 四千五百八十五円、黒濁(四十一名) 三千九百八十五円、大明神(七十一名) 六千八百九十円、柏本(六十四名) 一千七百六十元、

### 団体、職場からの募金

東白川村活花会 三千円、たばこ組合東白川婦人部 九千四百二十円、東白川村民生委員 同 六千五百円、長とろ産業株式会社 一千円、東白川村役場職員 同 五千五百七十八円、東白川村議会議員監査委員 同 一万七千円、美濃加茂市福祉事業協力会 一万円、HYK職員 同 三千円、東白川保育園職員 同 一千円、平安江茂従業員 同 千円、東白川青年団 九千二百五十円、役場農協窓口募金箱 二千円

### 一般、よいこたちからの募金

五加小学校児童会 九千九十一円、越原小学校職員児童 同 三千五百二十円、東白川中学校生徒会 三千五百九十七円、平成瀬昌弘 一千三百三十円、中谷安江ひとみ 三百円、日向桂川政一 千円、日向安江重子 五百円、平今井貞夫 五百円、平沢木きしの 五百円、陰地安江嘉久 二千円

## 配分は こんな所へ

生活保護世帯 二万九千八百円  
準生活保護世帯 一万四千円  
重度心身障害者 三万三千五百円  
重度心身障害児 八千円  
長期入院者 一万五千五百円  
らい病療養者 八千円  
老人ホームの老人 一万二千円  
救護施設の生活不能者 二千円  
母子寮の母子 四千円  
母子家庭 九千二百円  
独居老人 六千円  
本村出身者収容中の福祉施設 七千円  
慰問品購入代金 一万三千五百円  
雑費 五百八十円  
合計 十五万九千九百三十円  
寄せられた衣料品は、こども用でしたので恵まれないこどものいる郡七郡養護施設へ贈りました。なお、残金の二万五千五百五十円は、これからのたすけあい金として保管してあります。

### 編集後記

■おめでとうございます。

新年号をお届けしますが、各階層の方々の抱負を特集しました。ゆっくり考えてみてください。



## おかあさんの お点前拝見

東白川中央婦人学級、茶道グループ活動のひとつ。前号表紙に書道グループを紹介しましたが、どのグループも熱心さは先生も感心されるほどです。

勤めを終えたご主人に一眼いかがですか、そういった光景があちこちで見られるのも、もうすぐ、それと同時に、精神修養の場としてのこの活動も、しっかりと根をおろした感じがします。

洞(二十八名) 一千三百三十元、曲坂(八名) 一千七百五十円、日向(五十八名) 一万円、陰地(八十九名) 八千五百円、栃山(十九名) 四千五百八十五円、黒濁(四十一名) 三千九百八十五円、大明神(七十一名) 六千八百九十円、柏本(六十四名) 一千七百六十元、

募金のほか、平森藤一郎さんから新品衣料四十点